



「COOL CHOICE 賢い選択」

昨年の21号台風の襲来は島本町に大きな爪痕を残しました。また、今年も15号台風が首都圏を襲い大混乱をもたらしています。異常気象は地球温暖化に起因していることは間違いのないこと

でしょう。地球温暖化の要因とされるのは、温室効果ガスの排出量の増加です。温暖化を抑えるには温室効果ガスの排出量を削減することが大切です。

この努力は政府だけでなく、事業者や国民が心を一つにして行う必要があります。

島本町でもこの「COOL CHOICE」運動に賛同して、今年度は、一般財団法人大阪府みどり公社に事業展開をしてもらうように業務委託をしました。しまもと環境・未来ネットも「COOL CHOICE」運動に協力することになりました。



eco
チョイス！エコカー

ガスも使用する違いが大きく現れています。照明・家電製品がトップに高いのは、LEDや新しい省エネ型の家電製品でないものを使っている場合が考えられます。自動車が多くCO2を出しているのは、ガソリンや軽油で走るタイプだからです。「COOL CHOICE」運動では、自動車や家電等の買い替えのときは省エネタイプのものを、賢く選択するように薦めています。家計にも優しい選択になります。



「夏休み親子教室」

8月24日（土）午後、

役場地下会議室で親子30組を対象に開かれました。究極のエコカーと言われる燃料電池車模型を組み立てて燃料電池車の仕組みを理解してもらおうという狙いです。工作だけでなく燃料電池の仕組みの話もききます。工作した模型のバギー車は、マグネシウムシートに塩水を垂らすと発電する仕組みです。組み立てが終わった子ども達はめいめい床で走らせて楽しみました。

電池には、3通りの電気を発生させる方法があります。おなじみの単一・単三などの使い捨て電池（一次電池）、充電の出来るリチウムイオン電池（二次電池）、発電が出来る燃料電池です。燃料電池は、宇宙で一番軽く多く存在する水素を燃料とします。自動車に搭載されてFCVとして開発が進んでいます。



「第2回親子環境教育」

10月19日では、「ベランダじぶん発電」が予定されています。ソーラーパネルは、シリコンなどの半導体で作られており、この半導体に光が当たると、発電する仕組みです。再生可能エネルギーは、この他にも、風力発電、地熱発電、バイオマス発電、水力発電などがあり、普及は温室ガスの排出（CO2）量の削減につながります。日本では再生可能エネルギーの普及はまだ遅れています。

島本町内の「COOL CHOICE」運動

- 8/24 「夏休み親子教室」（燃料電池車模型の組み立て）
- 10/19 「第2回親子環境教室」（ベランダじぶん発電）
- 11/3 「文化祭出展参加」
- 11/17 「農林業祭出展参加」（啓発パネルの展示）
- （日時未定）「小学校出前授業」

島本町での「COOL CHOICE」運動は、「島本町の温室効果ガス排出量は減少傾向にあるものの、家庭部門では増加傾向にある。」という認識の上、家庭部門での排出量を削減していく必要があり、「住民一人ひとりの心がけと行動」を促すための地球温暖化対策の理解と自発的な対策行動の促進を啓発し、低炭素社会に近づくことを目的とします。

家庭部門の温室効果ガスの排出量の多い順

1. 照明・家電製品など、2. 自動車、3. 暖房、4. 給湯、5. キッチン、6. ゴミ、7. 冷房、と、ネット検索でヒットしたデータです。暖房のほうが冷房より順位が高いのは、エアコン（電気）だけでなく、暖房は灯油や都市

ワクワク！しまもと環境学校

2019年7月27日（土曜日） 午前10時から正午まで、名神高速道路高架下付近の水無瀬川河川敷で、自然観察部会の「川美化推進グループ、いきもの観察グループ、里山発見！グループ」が出展しました



川美化推進グループは、マイクロ・プラスチック・ゴミ0宣言の啓発ポスター展示と風力発電装置の展示、生き物観察グループは、風で種を飛ばす植物の種を紙工作して飛ばせよう、里山発見！グループは、間伐材を利用して作った黑板にお絵描きしよう！黑板アート。 沢山の子ども達や保護者が楽しみました。

エコ生活部会

「フード・ロスをなくす」に取り組んでいるエコ生活部会は、「0円キッチン」の上映会を開催します。2019年10月6日（日）14:00～ふれセン第四学習室

映画の紹介 web から

フードロスをなくす「0円キッチン」の旅 “世界の食料の3分の1が捨てられている” 食品ロスをなくすため、ダーヴィドは欧州5カ国を5週間、廃棄食材しか食べずに旅します。食材費は全部0円！ ダーヴィドのアクション！

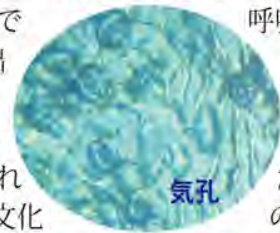
- ・ 食堂から車の燃料となる廃油を調達（オーストリア）
- ・ 一般家庭の冷蔵庫を抜き打ちチェック捨てる予定の食材や賞味期限切れの食材を救出クッキング（ドイツ）
- ・ アプリを使って町に自生する果物を調達（ベルリン郊外）
- ・ 海に捨てられる混獲魚でスープを調理（フランス）
- ・ 欧州議会食堂でゲリラクッキング（ベルギー）
- ・ 未来のオトナたちと昆虫食を食べ比べ（オランダ）

監督：ダーヴィド・グロス、ゲオルグ・ミッシュ



里山発見！グループ

森林は植物の光合成の働きによって、二酸化炭素を吸収し貯蔵して（幹や葉を作る）酸素を空気に出しています。地球温暖化防止の役割を果たしています。CO2の吸収量が多い、スギ（50年生）は1年間平均で約14kgのCO2を吸収すると言われています。これは人間1人が呼吸により排出するCO2の年間約320kgをスギ約23本で吸収することになります。しかし、気孔で呼吸をしていますが、幹や葉に固定されたり腐らせたりしなければ、たまたまです。伝統的に木の文化の日本では木造家屋や木製品に愛着を感じる国民性があると言われています。長く木製品を身近に感じて使いつづけることは、地球温暖化の防止につながっている、とも言えます。昨年9月にやってきた21号



台風の爪痕も徐々に復旧されてきて、大阪環状自然歩道部分の工事も11月ころには着工の予定のようです。右の様な情景を見ると、島本の森の将来はどのようになるのだろうかと思わずにはおられません。温暖化防止の一翼をになう、生物多様性を保持する豊かな森、離宮の水のかん養源となる健全な森、人々に潤いを提



供できる気持ちのよい林間、など所謂森林の多目的機能をそなえた森林の姿が思い描けます。

里山発見！グループの活動に協力していただいている「島本の森と水と健康を考える会」が10月に開催予定の「島本の森を歩いて島本の木で作ろう！」イベントは新しい試みで楽しみなイベントになりそうです。

島本の森の未来のために 森林認証制度など最近の森林整備の制度や手法を学んでいます。（坂田勝廣・記）

森林認証制度

地球の肺と称されるアマゾンの熱帯雨林の火災が収まる気配がなく、すでに九州を超える面積の森林が焼失しています。毎年落雷などで火災が発生、違法伐採も含め3～15万km²の森林が失われています。今年は乱開発のための違法な放火も原因と言われ、全地球規模での気候変動が懸念され、世界各国から支援の声も上がっています。

このような森林面積の減少や森林の荒廃が問題となり、森林の有する**多面的な機能**を発揮させる持続可能な森林経営の推進が必要とされ、国際的な取り組みが行われています。森林認証制度といわれるもので、適正に管理された森林（生産林に偏らない）から産出した木材などに、独立した第三者機関が評価・認証し認証マークを付ける環境ラベリング制度のひとつです。1993年に林業者、木材引取業者、先住民団体、自然保護団体などが集まりWWF（世界自然保護基金）を中心として設立された国際NGO・森林管理協議会FSC（Forest Stewardship Council）によって、提案されました。他には1999年設立のPEFC（Programme for the Endorsement of Forest Certification schemes）や、日本では2003年にSGEC・一般社団法人緑の循環認証会議（Sustainable Green Ecosystem Council）が発足しています。FSCでは**責任ある森林管理**から生産される木材とその製品を識別し、それを消費者に届けることで、**責任ある森林管理**を消費者が支える仕組みを作っており、FSCのラベル入製品を作っている花王、イオン、キリン、パナソニックなど多くの企業が導入しています。

日本国内の森林認証制度

日本国内では各地の自治体を中心となって独自の基準を設け森林認証制度を運営しています。農林水産省は「森林認証に関する意識・意向」平成14年度農林水産情報交流ネットワーク事業全国アンケート結果を公表しています。森林認証・ラベリングの認知度は、林業者、流通加工業者が5割、消費者が4割。参加意向は条件によっては、を加えると6割～7割。期待する効果（複数回答）は地域の林業・木材産業の活性化が林業者では8割、流通加工業者では7割。森林認証の運営機関についての意向は自然・環境関係組織が8割、消費者関係組織が6割でした。

林野庁は「平成28年度森林認証材普及促進対策事業（調査等）」において、森林認証材普及促進ガイド「川上から川下までの森林認証材の安定的な供給体制構築に向けて」を作成し、FM(Forest Management)認証・森林管理：木材の供給、水資源の保全、生物の生息域の提供など、様々な森林の働きを将来にわたって確実に引き継ぐため、適正な森林管理や環境保全への配慮に関する一定の基準に基づいて、森林を認証する制度。CoC(Chain of Custody)認証・管理の連鎖：認証材と非認証材を適切に分別管理し、ラベル等で表示することができる認証制度で、製造・加工・流通等、すべての過程が対象と規定しています。

来年開催のオリンピック施設について、組織委員会が調達する物品・サービス等に使用される木材については、持続可能性に配慮した調達コードが適用されるほか、持続可能性の観点からの調達基準を定めています。基準はFSC,PEFC,SGECによる認証材と同等以上に証明された材とされ、国内産を優先的に選択とされました。

おおさか材認証制度

2012年4月から実施されている「おおさか材認証制度」は持続的な森林管理の下で適正かつ計画的に生産された大阪府内産木材を安心して利用でき、将来に渡って森林を健全な状態で維持・保全していくことを目的としています。

大阪府が認定した「林業活動促進地区」において生産された木材を、大阪府に登録された認定事業者がおおさか材としての証明を行うものです。林業活動促進地区は木材の生産から製材加工、利用までの関係者が連携して地域ぐるみで持続的な森林経営と木材の安定的な供給体制の構築に取り組む地区を言います。

高槻市全域がたかつき産材利用推進地区として認定されています。

安満遺跡公園・パークセンター

高槻市は、京大農場の跡地を含めた一帯を、国宝級の歴史資産である弥生時代の安満遺跡を保存・活用し、防災機能を備えた、緑豊かな公園として整備し、今年3月開園しました。



◆制度の流れ・大阪府環境農林水産部 HP より

中心施設のパークセンターは内装木材がふんだんに採用されています。ホール天井の木製格子と、入口風除室天井の木製格子、壁羽目板を私が勤務する木材メーカーで納入しました。当センターは建築基準法上壁・天井に内装制限が掛るため、当社で不燃処理加工を施しました。入口風除室の材料は高槻市産のおおさか材認証杉材を採用できましたが、ホール天井の木製格子は高槻市産で、次に大阪府産の認証材で施工会社に提案しましたが価格が合わず、兵庫県産杉材の採用となりました。

併設されている屋内外一体型の複合施設プレイヴィルは、大型木製遊具や自然の素材を使って遊べる屋外ゾーンで構成され、親子連れ、グループの憩いの場となっています。

◆ホール内観・右側風除室羽目板：撮影は坂田



◆プレイヴィルの大型木製遊具：撮影は坂田



森林経営管理法

林野庁所管の森林経営管理法（林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の両立に向けて）が2018年6月制定されました。法の趣旨概要は市町村を介して林業経営の意欲の低い小規模零細な森林所有者の経営を、意欲と能力のある林業経営者につなぐことで林業経営の集積・集約化を図るとともに、経済的に成り立たない森林については、市町村が自ら経営管理を行う仕組みを構築する。そのため森林所有者の責務を明確化し、所有する森林について、適時に伐採、造林又は保育を実施することにより、自然的、経済的、社会的条件に応じた適切な経営又は管理を持続的に行なうとあります。森林所有者の全部又は一部が不明のものについて、一定の手続により市町村に経営管理権を設定することを可能とする措置を講ずるとしています。

国税森林環境税・譲与税

今年3月に、「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律案」が制定され、新年度から森林環境・譲与税の譲与が先行して始まりました。この財源は前述した森林経営管理法に基づく、市町村の私有林人工林の管理を通じて、森林の公益的機能を発揮する事業の財源であり、市町村を主体とする森林行政の新システムの始動に期待しています。

総務省によれば森林環境税は住民税対象者に年額1000円で2024年から徴収、総額620億が見込まれる。総額の9割が私有林人工林面積等の割合で市町村に譲与税として配分されます。

島本町の森林整備の現状

島本町は豊富な森林に恵まれています。ほとんどが民有林であり、筍生産以外は生産林としての林業経営活動もなく、水源かん養等の保安林整備事業や大阪府環境税事業、自然災害に対しての森林整備が一部で実施されています。町有林はNPO団体の協力を得て、大沢地区はサントリー天然水の森として長期的な整備がされています。他の民有林はごく一部の地区が個々の所有者と森林ボランティア団体によって整備されています。昨年の台風による甚大な被害時には、緊急対応の必要な島本町の管理する公道・里道の倒木処理について、町内のチェーンソーを扱える森林ボランティア団体に支援要請がありましたが、私の所属する団体の活動地でも5～7割の倒木が未処理のままです。

森林認証制度は国内産木材の認証団体間の価格競争の現実があり、島本町には不向きと思われます。森林経営管理法に期待したいが、今年度の島本町の国から交付される森林環境譲与税は1823千円であり、別途財源の確保と近隣自治体や企業との共同化の検討が期待されます。

あとがき

「クールチョイス」には、CO₂など元素記号が出てきます。今年はメンデレーエフによる元素周期表の発見から150周年になるそうです。Nh(113,Nihonium)日本の国名が付いた元素もあります。「一家に一枚元素周期表」という活動もあります。島本町には元素記号を日常的にあつかっている優良企業があります。CO₂を吸収しOを放出する島本町の森のアドプトフォレストになってくれる企業はないかしら。

T.Y

